



2024年6月11日

各 位

会社名 日本ゼオン株式会社
代表者名 取締役社長 豊嶋 哲也
(コード番号 4205 東証プライム市場)
問合せ先 取締役常務執行役員 曾根 芳之
(TEL. (03)3216-2747)

シクロオレフィンポリマーの新プラント建設決定について

日本ゼオン株式会社（(本社：東京都千代田区、代表取締役社長：豊嶋 哲也 以下、当社）は、本日開催の取締役会において、中期経営計画に掲げた全社戦略「既存事業を磨き上げる」「新規事業を探索する」に沿って、当社の主力製品である高機能樹脂シクロオレフィンポリマー（以下、COP）の新プラント建設を決定しましたので、お知らせいたします。

当社は、かねてよりCOPの生産拠点分散によるレジリエンス強化策の検討を進めていましたが、国内外の候補地より山口県周南市を選定し、新プラント建設用に事業用地を取得しました。現在、水島工場（岡山県倉敷市）で生産しているCOPは、中期経営計画において磨き上げおよび新規探索に注力する成長事業の一つと位置付けており、COPが有する優れた光学特性、低吸水性、更には不純物が非常に少ないという特長から、今後も旺盛な需要が見込まれています。光学フィルム、光学レンズ用途だけでなく、医療用途、半導体用途での採用も拡大しており、今後も更なる需要拡大が見込まれることから、本設備の増設を決定しました。

なお、COPは水島工場の既存プラントで約42,000t/年の生産能力を有しており、建設を決定した新プラントも合わせた全体の能力は、約54,000t/年まで増強されることを見込んでいます。

新プラント建設予定地は、BCP（事業継続計画）の観点から岡山県外の拠点を検討してきましたが、山口県周南コンビナート内の事業用地に決定した理由に、水島工場との利便性に加え、当社の徳山工場（山口県周南市）と近接した場所であることが挙げられます。今回取得した事業用地には、今後も高収益製品のプラント建設を検討中であり、現在の汎用品中心の徳山工場の製品ポートフォリオを大幅に見直し、操業人員も含めた各種リソースを高収益製品の生産に移行させていく計画です。当社では、今後も積極的な事業構造改革を推進し、中長期的な企業価値向上を目指していきます。

【新工場の概要】

- (1) 所在地：山口県周南市由加町
- (2) 敷地面積：約 186,500 m²
- (3) 生産能力：約 12,000t/年
- (4) 着工時期：2025 年度下期
- (5) 竣工時期：2028 年度上期
- (6) 投資総額：約 700 億円

【今後の見通し】

本件が 2025 年 3 月期の連結業績に与える影響は軽微であります。

以上